



認定部門 **長時間労働削減取組部門**

**エス・エー・エス 株式会社**



働き方を見直すいきいき職場を応援!

**ワークライフバランスフェスタ東京2011**



**WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2011**



# エス・エー・エス 株式会社

## 会社概要

会社名	エス・エー・エス株式会社
代表者名	青山 秀一
創立(創業)	1995年10月
所在地	港区芝浦3-7-9 9F
TEL/FAX	03-5427-3663 / 03-5427-3664
従業員数	80名
URL	<a href="http://www.sas-com.com/">http://www.sas-com.com/</a>



## 事業内容

### 【基幹業務システムの構築・コンサルティング】

『金融・流通・クレジット』分野のシステム構築を基盤に、各種ITソリューション分野への挑戦と創造を常に実践しています。

以下4つのスキルをITソリューションの基本コンセプトと捉えております。

- ◆高度な技術スキル (Technical Skill)
- ◆幅広い開発スキル (Development Skill)
- ◆深い業務スキル (Application Skill)
- ◆確かな生産・管理スキル (Production・Management Skill)

またクラウド事業を拡大するため、自社開発の「RENER(レナー)」(人材派遣業向け総合人材管理業務システム)を先駆けに、2010年9月には勤怠管理パッケージを保有する企業の株式を取得、グループ会社化し、同パッケージの販売はもとより、クラウド製品化へ着手しています。

今後は、更なるクラウド製品開発とアライアンスの促進によって、お客様にご提供できるサービスの多様化・充実化を図っていきます



## 認定部門 長時間労働削減取組部門

### 目的・理念

#### 『すべては“笑顔”のために』 『SASワークライフバランス化計画』

「常に質の高いサービスを提供し  
会社のスキルアップを通じて  
SAS全メンバーの生活水準の向上を図っていく」

常に質の高いサービスを提供し、そこから得た大切な経験・スキルをもとに、SASの全ての関係者が共に成長し笑顔の絶えないすばらしい人生を過ごしてもらいたい。

そして、その充実した人生から最高の笑顔を得るために無限大のパワーをさらに発揮し続けてもらいたい。

この願いから、『すべては“笑顔”のために』『SASワークライフバランス化計画』を合言葉に、独自のワークライフバランスの実現を目指しています。



### 取組内容

#### 『仕事と私生活の両方を充実させる好循環の仕組みづくり』

##### ○ワークライフバランスに関する教育・研修の実施

ワークライフバランスに関する教育・研修を全体会議において隔月で実施しています。また、月に1度メールマガジンを配信することでも、意識の浸透を図っています。

##### ○業務効率化に関する教育・研修の実施

##### ○NO残業デーの実施

毎週水曜日に「NO残業デー」を実施しています。残業を行う社員に対しては、「残業申請書」の提出を義務付ける等の工夫もしています。

##### ○福利厚生や社内制度の拡充

福利厚生や社内制度を拡充させる事で、仕事の生産性向上、仕事以外の時間の充実度アップを図っています。

##### ○会議の効率的運営

##### ○管理監督者への意識啓発

毎月の役員会や経営会議において、状況のフィードバックと企画・管理部からの指導を実施しています。



## 認定部門 長時間労働削減取組部門

### 実現のポイント

#### 社長をトップとした推進体制の確立

- ・社長をトップに、企画・管理部が主体となって推進しています。併せて、経営会議等で各部門のマネジャー層との意識共有も行き、部門ごとにも更なる推進を図っています。

#### 意見交換会・研修・ワークショップ等の活用

- ・全体会議・部会・分科会にて意見交換会やヒアリングを行っています。
- ・ワークライフバランス推進の一環として、ワークショップの開催もしております。そこで各々に作成してもらったワークライフバランス計画シートを通じ、意識の浸透を図っています。
- ・主に意識の醸成を目的としたワークライフバランス研修を行う際は、極力ワークショップ形式を取り、“気づき”を得てもらおう工夫をしています。

#### 社員専用ウィキの活用

- ・拡充を進めている福利厚生に関しては、より利便性高く活用してもらう為に、一覧表にまとめて社員専用ウィキに掲載しています。

### 従業員の意見

#### 職場への効果

- ・定時退社日をきっかけに、リーダーから退社を促してくれるようになったので、帰りやすい雰囲気になりました。
- ・ワークショップ形式での研修を受けることで、自分だけでなく、同僚や後輩、上司の仕事に対する考え方や取り組み方、目標などを知ることができるので、相互理解が深まっています。

#### 会社の姿勢や方針について評価できる点

- ・研修に力を入れてくれている点や、プライベート時間を充実させる為の福利厚生がどんどん拡充されている点を評価できると思います。

#### 生活や働き方への影響

- ・研修を受けた事や、スキルアップ状況の報告によって、曖昧にしがちであった自分の働き方を見つめ直し、しっかりと計画を立てて取り組むようになりました。また、福利厚生の拡充によってプライベート時間の充実度が上がっている為、仕事に対する意気込みは強くなり、メリハリもはっきりつけられています。

#### 職場での周知方法

- ・定時退社日は、時間になると企画・管理部のメンバーとチームリーダーが直接声かけをしてくれます。
- ・研修は、全社員が集まる全体会議の場で行われています。

